かゝる資本の攻撃は勿論労働者大衆にのみ過重の負担を強要して
のみでなく事実労働者大衆は之に依つて更に悲惨になる労働
条件の低下、解雇、工場閉鎖等々に直面せしめられ失業者の洪水は殺到
労働者を餓死と飢餓の危険に曝らされつゝある。
かくの如き空前の資本の攻勢に対して全労働者大衆は組織、未組織
の別を問はず一様に反抗せざるを得ない。
しかも其の自然発生的反抗機能は当然にしてこの反抗の上に加つて労働者の重
要な的な行動はその盛んなる現れに於て階級的労働組合協議会
争、ストライキ、労働組合組織者との問題は完全に封鎖されて了つてる
に依り却つて労働大衆は闘はさるを得ない。即ちその自然発生的闘争は
全国至る所に起されその必然の結果の中から統一的闘争
の共同闘争」への要求は益々発せられしかも刻々に高まりつゝある。
更に左翼労働組合は工場（代表）の運動産業別闘争統一権力に対する闘
争等、労働階級の利益を代表した闘争を展開しその組合内の戦線
統一の必要を叫び乍ら大衆の要求に応へこれに努力しまた。

二、労働組合統一の現在の諸モメント

右翼運動者の特殊性歴史的条件に於て分裂せられし労働組合は現在右
翼・中間派・左翼等の幾派に分立してゐるが上述の如く今日の主なる労働
組合の闘争の過程に於て真実に戦線統一の必要を認識し、その要求
は愈々熾烈を加へつゝある。
所謂全評の如きは統一運動問題は工場代表者会議を以て労
働大衆の日常要求を代表統一して其の闘争の共同を通じて統一を達
成せんとする一運動者の先頭に立つて闘争しつゝある。
又、農民団体も分裂されて大衆の生活は労農組合全国的把握を急務とし
か斯る事実を認めつゝもしかるに未だに実行されない。
以上過去に於て最初の試みは一九二六、七の全国労農党結集の一

財團法人協調會